



～みんなで文化財を火災からまもろう～

1月26日は、文化財防火デーです。

①西方寺

本尊の阿弥陀如来と十一面觀音は惠心僧都（源信）の作、地蔵尊は弘法大師（空海）の作と伝えられています。上醍醐の清瀧宮からの分身として、清瀧大権現が祀られ、雷除けとして古くから信仰があります。

京都市伏見区醍醐中山町

⑤下村家住宅

醍醐寺の寺侍や庄屋を代々務めた下村家の住宅で、茅葺屋根が美しく、国の登録有形文化財に登録されています。江戸時代後期の尼僧・歌人・陶芸家の太田垣連月が、晩年の数年間を過ごしました。

京都市伏見区醍醐落保町

⑨法界寺

藤原氏の北家にあたる日野家の菩提寺です。本尊の薬師如来像（重要文化財）は、胎内仏で女性に信仰されています。阿弥陀堂と丈六の阿弥陀如来座像は国宝に、天人の壁画は重要文化財に指定されています。

京都市伏見区日野西大道町

②赤間薬師堂

源平の争乱を避け、赤間関（山口県下関市）から当地に移された木造薬師如来座像（平安時代後期の作：京都市指定文化財）が安置されています。赤間水は、醍醐三水の一つで威徳水ともいいます。

京都市伏見区醍醐御陵東裏町

⑥善願寺

本尊の地蔵菩薩座像（重要文化財）は、腹部に腰紐で結んだ下衣が見え、腹帯に似ていることから腹帯地蔵さんと称され、安産祈願の信仰を集めています。小野小町に縁の樅の木には不動明王像が彫られています。

京都市伏見区醍醐南里町

⑩萱尾神社

日野村の産土神（土地の守護神）で、江戸時代までは法界寺の鎮守社でした。現在の本殿（京都市指定文化財）は、1652年に造営されたもので、その後も屋根の葺替や彩色等の修理が繰り返されてきました。

京都市伏見区日野畠出町

③長尾天満宮

醍醐寺開山の聖宝と親交のある菅原道真の死（903年）後、太宰府から道真の衣装を取り寄せ、醍醐寺境内に衣裳塚が作られました。949年、衣裳塚の北方に長尾宮として、神殿が建立されました。

京都市伏見区醍醐伽藍町

⑦一言寺（金剛王院）

真言宗醍醐派の別格本山です。本尊は十一面千手觀音で、ただ一心に祈ると言下に願いが叶うとされ、寺の名の由来になっています。門の南に位置するヤマモモの木は、京都市の天然記念物に指定されています。

京都市伏見区醍醐一言寺裏町

⑪天穗日命神社

岩田社ともいわれ、万葉集にも度々登場する岩田の社にあります。現在の本殿は1783年に造営されたもので、京都市の登録文化財に登録されています。境内は文化財環境保全地区に指定されています。

京都市伏見区石田森西

④醍醐寺（世界文化遺産）

真言宗醍醐派の総本山。874年、聖宝が山上に草庵を結び准胝・如意輪両觀音像を彫刻、安置したのが始まり（上醍醐）。926年、下醍醐が開かれ、五重塔（京都府下最古の木造建築物）などが建立された。

京都市伏見区醍醐伽藍町

⑧恵福寺

鎌倉時代後期の創建で、平安時代の木造阿弥陀如来立像と地蔵菩薩像があります。地蔵菩薩像は腹帶地蔵さんと称され、安産祈願の信仰を集めています。境内のしだれ桜は、伏見区民誇りの木に選ばれています。

京都市伏見区日野西大道町

⑫大善寺

地蔵堂の地蔵菩薩立像（重要文化財）は、小野篁が、一本の桜の木から、六体の地蔵を刻み安置したものと言われています。毎年、8月22・23日に行われる六地蔵めぐりの発祥の地です。

京都市伏見区桃山町西町